

【平成29年度田無すくすく保育園 事業報告書】

1 2017年度の概要

「風と光と笑顔あふれる保育園」をモットーに地域に親しまれ、子どもにもおとなにも信頼されるいごちのよい保育園をめざすことを基本理念のもと、田無すくすく保育園では

- ・いっぱいあそび いっぱい食べ いっぱい寝て にこにこ笑顔で過ごそう
- ・じぶんもまわりの人や物もたいせつにしよう を園の目標とし、

2点の大きな目標の元、今年度は特に

(ア) 笑顔で挨拶 (イ) 相手を思いやりながら自分の気持ちを表現する

に力を入れて保育に取り組み、子どもだけでなく大人も同じように同じ事に取り組んできた。子どもの成長に大人が追いつけていない部分もみられたが、何をどうしたらいいのか、どのように取り組むかの話し合いを積み重ねることにより、行動できるようになってきている、今後もこの取り組みを続けて欲しいと思う。

2 振り返り

(1) 保育目標の実践

- ・子どもたちとの関わりにおいて、その年齢発達を勉強することにより、一人ひとりの発達のペースに沿った保育の展開を行う事ができた。
- ・自己の目標達成に向けて外部研修を活用した。今後も自分磨きやスキルアップのため職員がより多くの研修に出られるようにしていきたい。

(2) 保護者支援

- ・保護者懇談会や個人面談を実施する中で、情報の共有、成長課程を話しあうことで家庭との連携をよくしてきた。
- ・平日休暇の際のリフレッシュを目的とした保育を受けることで保護者との距離が近くなった。

(3) 地域の子育て支援

- ・すくすく体験とし、土曜日に保育園の体験をしてもらえる場を作った。人数制限があったり、日にちを指定しているので多くの方に参加できるよう考える必要がある。

(4) 職員構成

- ・ゆとりある職員配置をすることで、勤務時間内に事務時間を確保することができた。また経験者が新人に対して実践を通して保育の知識、技術など話す時間がもてた

2 児童利用状況

(1) 月極利用児童受託状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6人	14人	14人	18人	18人	18人	88人
前期利用者	6人	14人	14人	17人	1人	0人	52人
後期利用者	6人	14人	14人	18人	1人	0人	53人

3 保育園開園時間

- 標準時間基本保育時間 7:00～18:00
- 標準時間延長保育時間 18:00～20:00
- 短時間基本保育時間 8:00～17:00の間の申請した8時間
- 短時間延長補食時間 上記以外を超えた時間

4 職員 (平成29年4月1日時点)

常勤職員 15名				パート職員 10名			
施設長	1名						
保育士	11名	看護師	1名	保育士	5名	事務員	1名
栄養士	1名			栄養士			
調理師	1名			調理員	3名		
				嘱託医	1名		

5 運営報告

(1) 会議内容

①施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園会議	27日 13人	25日 13人	29日 11人	27日 13人	25日 12人	1日 15人	5日 14人	1日 14人	1日 14人	25日 15人	17日 13人	29日 14人
給食	25日 6人	31日 5人	27日 4人	27日 5人	4日 3人	28日 6人	26日 6人	30日 6人	19日 6人	25日 6人	21日 6人	5日 6人
運営 委員						15日 7人					16日 7人	
その他	7日 20日		12日	11日 20日 21日	26日 28日		18日	9日	12日 20日		8日	

②施設外会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園長		10日	23日	10日 19日	18日		11日 16日		18日		7日	
看護師			2日 12日				13日					
栄養士			22日	6日	28日	7日	13日			17日 28日		

(2) 係内容

衛生管理者	保育環境・衛生・予防に関わる提案実施
食品衛生管理者	衛生点検・予防及び管理と全職員への指導
防火管理者	避難訓練の実施、自衛消防訓練通知書の提出
研修委員	園内研修の企画立案を行った（別紙参照）
親睦会	職員のコミュニケーションを深める会の設定を行った

6 保育方針

(1) 子どもの保育目標

各クラス試行錯誤の上、目標を達することができた

(2) 年間行事報告

年間行事予定に基づき行事を実行することができた。また保育参観・参加には65名の保護者の方が参加して頂き家庭と園での姿の違いを見ていただくことができた。

(3) 食育実施報告

(ア) 計画に従い各年齢の目標を達成することができた。

(イ) 園庭での野菜の栽培・収穫

3歳児	きゅうり・とまと・なすの栽培収穫をしたが食べるに至らなかった
4歳児	稲を栽培

(ウ) 調理保育

3歳児	とうもろこし皮むき・野菜のちぎり・つぶし・おにぎり作り
4歳児	野菜の皮むき（ピューラー）・おやつ作り

(4) 保健実施報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	27日	25日	22日	13日	3日	21日	26日	30日	14日	25日	22日	15日
内科			22日						14日			
歯科		12日										
眼科		25日										
歯科衛生						22日						
職員健診				12~14								
職員検便	12日	18日	13日	13日	9日	14日	12日	9日	13日	17日	14日	14日

(5) 各種点検報告

危機管理	安全点検チェック	毎月 事務が担当
	SIDSチェック	毎月 各クラス担当
	事故防止チェック	毎日 各クラス担当
衛生管理	衛生管理点検表	毎日 乳児・給食担当
	個人衛生点検簿	毎日 乳児・給食担当
	検便・細菌検査	毎月 全職員
健康管理	保健関係確認(既往歴・保険証)	年2回 看護師
	身体測定	毎月 各クラス
	児童各種健康診断	上記参照
運営管理	自己評価	毎月 全職員
	第三者評価	年1回 全保護者・職員

(6) 環境整備

事故防止対策マニュアルを作成し環境整備また安全の確保の見直しを行った

7 危機管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難訓練	25日	31日	28日	19日	29日	1日	27日	16日	5日	25日	28日	14日
ヒヤリハット	3件	3件	4件	7件	1件	0件	7件	6件	3件	12件	12件	7件
受診件数	1件	1件	1件		1件		1件	1件			2件	2件
不審者対応	田無警察署生活安全課より講師を派遣 8月22日											
光化学スモック	学校情報をもとに行動した											

8 ボランティア・実習生の受け入れ

① ボランティア

日程	学校名	人数	担当保育士
8月1日～3日	清瀬高校	3名	望月 優
8月16日～18日	清瀬高校	1名	岸 愛子

② 実習・・・該当者なし

③ 職場体験・・・該当者なし

9 職員育成と研修報告

① 園内研修

日程	講師	研修内容
4月1日	今井和子先生	自己肯定感を育む保育について
4月29日	佐久間ふさ子	感染症マニュアル見直し
6月29日	中村望美	日誌・連絡帳の書き方
7月27日	渡邊・角花 古川・小野寺	児童文化財を实践する
8月22日	西東京警察署	さすまた
9月	久保田・坂西	研修報告
11月1日	田中美奈子	嘔吐処理・感染症
11月9日	西東京消防署	AED研修
1月25日	中村望美	マニュアル読み合わせ（園のしおり）
2月17日	岩崎 恵	ヒヤリハット
3月		ヨガスクール

② 外部研修

アンガーマネジメント・0歳児の発達と保育など専門分野の研修に参加。また新保育指針を学ぶ研修会には正規職員全員で参加し平成30年度からの保育指針の改正に基づいてのポイントを学んだ

10 地域交流報告

近隣の方より、今まで暗かった道に園が出来たことで明るくなり、防犯に役立っていると評価されている。今後は世代間交流や子育て支援活動に力を入れていきたい。

11 小学校との連携

5歳児がいない事、また地域の中に保育園・幼稚園等が多数あり交流するには難しいところもあった。今後は小学校の体育館を運動会で使用するなど地域の中に入り込む機会を多くしていきたいと思う。

12 要支援児童への対応

ケース会議の開催がなかなか持つことが出来なかった。全体会議の中で話しあいを進めてきた為、対応までに時間がかかってしまったのが今後の課題。気になる園児に対し、発達支援センターに連絡を入れ、巡回指導をしてもらった。また家庭に問題がみえた子に対しては家庭支援センターに連絡をし、つながりを持たせることが出来た。

13 福祉サービス第三者評価の受診

学研データーサービスに依頼して受診済み。

アンケート配布日：10月31日～11月14日

アンケート回答率（職員）・・・100% / アンケート回答率（保護者）・・・60%

14 来年度に向けて

小学校との連携・世代間交流など地域との関係を密にしていき、また地域での子育て支援活動に力を入れていきたい。